

十勝おやじの背中を超える会 Presents Agrication Symposium

～農業における「繋がり」の意味～

これからの農業に
必要なことは？

先行きの見えない農業を取り巻く環境。
そんな中でも、様々な取り組みが行われています。例えばマルシェや食育活動。
その目的は「作り手」と「食べ手」の繋がり。
互いが互いを知れば、何かが変わるのかもしれない。

2012年は日本にとって大きな転換期とも言われています。
その中で、農業も大きな変化を迎えることが予想されます。
それが良いことなのか、良くないことなのか。それについて様々な議論がされています。
しかし、制度や戦略を議論する前に大切なことがあるのではないのでしょうか？
それは、食や農業の価値を考えること。その価値について、共通した認識を持つこと。
生産者だけじゃなく、消費者だけじゃなく、全ての人が同じ答えを持つこと。
立場や状況に左右されない答えを持つこと。
現在、それに向けて様々な取り組みが行われています。
そのコンセプトは「作り手」と「食べ手」の交流。そしてそこから生まれる繋がり。
今回は、北大マルシェと十勝の若手生産者団体「十勝おやじの背中を超える会」の取り組みについて、その取り組みや想いを伺い、農業において繋がることの意味を模索していきます。

Content

Case report ～事例報告～

北大マルシェについて

北海道大学大学院農学研究院 助教 小林国之

十勝おやじの背中を超える会について

十勝おやじの背中を超える会 会長 梶宗徳

農村ホームステイ事業について

ノースプロダクション 代表 近江正隆

Workshop ～繋がる意味を考える～



主催 十勝おやじの背中を超える会 協力

北海道大学大学院農学研究院
協同組合学研究室

日 時: 2/26(日) 13時30分～18時

受付 13時～13時30分まで

場 所: 北海道大学農学部総合研究棟多目的室(W 109室)

(札幌市北区北9条西9丁目)

会 費: 無料

申込先: 十勝おやじの背中を超える会 事務局

oyasena@shokukyu.jp までmailにて

「ご所属、お役職、お名前」の記入をお願い致します。

※定員70名に達し次第締め切らせていただきます